

# 建築研究所 ニュース



平成 30 年 5 月 10 日

**中南米諸国 8ヶ国 12名の構造技術者及び建築担当の行政官を対象とした国際地震工学研修を実施します。**

国立研究開発法人建築研究所では、昨年に引き続き、国際地震工学研修の短期研修として、「中南米地震工学研修」を 5 月 15 日から実施します（技術者グループは 7 月 27 日まで、行政官グループは 6 月 6 日まで）。参加する国と人数は、エクアドル、エルサルバドル、コスタリカ、ドミニカ共和国、ニカラグア、ペルー、ホンジュラス、メキシコの 8 ヶ国から選ばれた構造技術者 10 名及び建築担当の行政官 2 名となっています。

中南米（ラテンアメリカ）諸国は地震が頻発する地域ですが、耐震建築の技術普及が遅れており、地震による建物の崩壊でこれまで多くの人的・物的被害が発生し、人材育成が急務となっています。

この研修では、建物の耐震設計・施工・診断・補強の技術と制度を講義・構造実験等により習得させ、中南米地域での地震発生時の被害の軽減を目指しています。

研修をより効果的に実施するため、講義はスペイン語で、構造実験はエルサルバドル共和国の国立エルサルバドル大学等において 2 週間をかけて実施します。なお、構造実験には、当所で実施している 1 年間の研修コースで過去に学んだことのある帰国研修生が講師として参加します。

本研修によって、構造技術者と建築担当の行政官の耐震技術習得、相互理解、人脈形成がはかられ、各国の耐震対策が緊要と考えられる住宅、学校、病院等の建築物に関する耐震技術が普及することが期待されます。

## <参考1：開講式の日程>

第5回中南米地震工学研修 開講式

日時：平成30年5月15日（火）13:30～

場所：国立研究開発法人建築研究所2階講堂（つくば市立原1）

## <参考2：これまでの研修修了者数>

- ・中南米地震工学研修：10ヶ国から 69名（うち建築担当の行政官は9名）
- ・国際地震工学研修：101ヶ国から1,831名（中南米地震工学研修含む）

### （内容及び開講式取材の問合せ先）

国立研究開発法人 建築研究所  
（つくば市立原 1）  
所 属 国際地震工学センター  
職 名 管理室長  
氏 名 飯竹理広  
電 話 029-879-0678(直通)  
e-mail iitake@kenken.go.jp